

中央労働災害防止協会
教育推進部長 角元利彦
【照会先】
総務部上席専門役 間宮直樹
(電話)03-3452-6542 (FAX)03-3452-9225
E-mail koho@jisha.or.jp

平成 25 年度労働災害防止対策補助事業
**介護・看護労働者の腰痛予防の進め方 及び
配達業務の安全活動好事例集 まとまる**

中央労働災害防止協会（中災防）では、平成 25 年度に下記のとおり、調査研究事業を行いました。この度その結果がまとまりましたので、別添のとおり公表いたします。

当協会では、これらの結果を活用して、今後、産業界において安全衛生活動が活発に実施されるよう、一層の普及促進を図っていきます。

記

- (1) 改訂「職場における腰痛予防対策指針」に沿った
社会福祉施設における 介護・看護労働者の腰痛予防の進め方
～リスクアセスメントの考え方を踏まえて～
- (2) 配達業務を安全に
～リスクアセスメント、交通事故防止対策などの活動好事例集～

JISHA
(注) **中災防**

中災防は、昭和 39 年に労働災害防止団体法に基づき設立された団体で、事業主の自主的な労働災害防止活動を支援するため、企業の人材の育成、安全衛生の専門技術の提供および最新安全衛生情報の提供などの安全衛生に関する総合的な事業を行っています。

会 長：米倉弘昌（日本経済団体連合会会長） 理事長：関澤秀哲

安全と健康への想いを 未来に



(1) 改訂「職場における腰痛予防対策指針」に沿った 社会福祉施設における 介護・看護労働者の腰痛予防の進め方 ～リスクアセスメントの考え方を踏まえて～

平成 25 年 6 月に厚生労働省により改訂された「職場における腰痛予防対策指針」に新たに盛り込まれた社会福祉施設で働く介護・看護労働者の腰痛予防対策について、その手順や実践例をリスクアセスメントの考え方を踏まえて解説している（図 1）。

作業環境や労働者の要因だけでなく介護・看護対象者の要因を加味しなければならないといった介護・看護労働の特性を踏まえ、また安全衛生体制が十分でない施設においても腰痛予防対策にたどりつけるものとなるよう、リスクを評価し、リスク回避・低減対策のつなげられるようにした（図 2）。

また、対策指針に示された「原則として、人力による人の抱上げは行わせないこと」にすでに取り組んでいる企業の福祉機器の導入までの経緯等や海外の事例として、オーストラリアの「ノーリフティングポリシー（人力のみでの移乗介助や移動を制限したもの）」についても紹介している。

介護労働者の腰痛予防対策チェックリスト

改訂「職場における腰痛予防対策指針」に沿った
社会福祉施設における 介護・看護労働者の
腰痛予防の進め方
～リスクアセスメントの考え方を踏まえて～



図 1 冊子の表紙

31 ページの「評価（アセスメント）シート」（部分介助）に沿って、腰痛予防対策を記述した例。

対象者名 ○○○	評価日 平成○○年○月○日	①介護サービス			②施設介護			③在宅介護			リスクの要因例	④リスクを低減するための対策例 (施設)	
		介護サービス	施設介護	在宅介護	施設介護	在宅介護	施設介護	在宅介護					
②介助作業 具体的な作業内容	業務での 抱上げ	作業 量	頻度 作業時間	作業 環境	リスク								
試着衣時の 移乗介助	ベッドや椅子 ペグやポルトレ 移乗子や便座 移乗子や椅子 移乗子やストレッチャー などの移乗介助	A あり B なし	a 不良 b やや不良 c 小	大 中 小	頻発 時々 ほぼない	頻発 時々 ほぼない	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低
①非着衣時の 移乗介助	要介護者が着用してない 物の入浴、身洗、洗濯、 押す移乗介助	A あり B なし	a 不良 b やや不良 c 小	大 中 小	頻発 時々 ほぼない	頻発 時々 ほぼない	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低
①移動介助	要介護者を支えながらの 歩行介助、車椅子での移 動介助	A あり B なし	a 不良 b やや不良 c 小	大 中 小	頻発 時々 ほぼない	頻発 時々 ほぼない	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低
①食事介助	経管栄養のどれを要介護 者の食事介助、ベッド上で の食事介助	A あり B なし	a 不良 b やや不良 c 小	大 中 小	長い 時々 短い	頻発 時々 ほぼない	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低
①体位変換	褥瘡などの褥瘡を予防す るための体位変換、寝て いる位置の修正、ベッド には布団から要介護者を 起き上げさせる介助	A あり B なし	a 不良 b やや不良 c 小	大 中 小	長い 時々 短い	頻発 時々 ほぼない	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低
①清潔介助 整容・更衣 介助	要介護者の体を拭く介助、 衣服の脱着介助、身 だし介助など	A あり B なし	a 不良 b やや不良 c 小	大 中 小	長い 時々 短い	頻発 時々 ほぼない	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低
①おむつ交換	ベッドや布団上でのお むつ交換	A あり B なし	a 不良 b やや不良 c 小	大 中 小	長い 時々 短い	頻発 時々 ほぼない	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低
①トイレ介助	トイレでの移動に伴う脱着 衣、着衣、便座への移乗 などの介助	A あり B なし	a 不良 b やや不良 c 小	大 中 小	長い 時々 短い	頻発 時々 ほぼない	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低
①入浴介助	一般浴、看護前における 顔の洗髪、入浴、身洗、 洗濯などの介助	A あり B なし	a 不良 b やや不良 c 小	大 中 小	長い 時々 短い	頻発 時々 ほぼない	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低
①送迎業務	送迎車への移乗、居室か ら送迎車までの移動など	A あり B なし	a 不良 b やや不良 c 小	大 中 小	長い 時々 短い	頻発 時々 ほぼない	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低
①生活援助	掃除、洗濯、掃除、買い物 など	A あり B なし	a 不良 b やや不良 c 小	大 中 小	長い 時々 短い	頻発 時々 ほぼない	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低
①その他		A あり B なし	a 不良 b やや不良 c 小	大 中 小	長い 時々 短い	頻発 時々 ほぼない	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低

図 2 介護労働者の腰痛予防対策チェックリスト

(2) 配達業務を安全に

～リスクアセスメント、交通事故防止対策などの活動好事例集～

配達業務に関する業種は、運送会社による荷物の配達をはじめ、郵便配達、新聞配達、また、外食産業による食事の出前・宅配、小売業による食料品や生活雑貨の配達、さらには緊急時に駆けつけるセキュリティサービスなど、多岐にわたっている。これら配達業務のうち、例えば新聞販売業（新聞配達）における休業4日以上の労働災害による死傷者数は、ここ数年2,000人を超え、増加傾向にある。特に交通事故は死亡災害や重篤なケガになる可能性がある。

そこで住宅などに戸別に荷物等を配達する業務に携わる労働者が安全に働けるような取り組みをしている7企業（貨物運送業、新聞販売業、小売業、配達飲食サービス業、飲食店、警備業）に直接お話を伺い、その内容を事例集としてまとめた（図3、4）。



図3 事例集の表紙



図4 配達業務における災害事例

- 中央労働災害防止協会ホームページ (<http://www.jisha.or.jp/>)
- 調査研究結果の全文、リーフレット等は当協会ホームページの「調査・研究」のページに掲載しています。

(<http://www.jisha.or.jp/research/report/index.html>)